

## トピックス

### 原子力災害を想定した「オフサイトセンター活動訓練」に当社も参加しました

9月7日、8日の2日間、女川町にある宮城県原子力防災センター(オフサイトセンター)において、原子力災害を想定した「オフサイトセンター活動訓練」(主催:独立行政法人原子力安全基盤機構)が実施され、国や地元自治体をはじめ、当社を含む16機関から約100名が参加しました。

参加者は、訓練初日に原子力防災の基礎知識やオフサイトセンターの機能などについて学び、2日目には、女川原子力発電所2号機の原子炉格納容器内の配管が破断し、冷却水が漏えいしたとの想定で訓練を行い、緊急時における情報共有や連携について確認するなど、原子力災害への対応に必要な技能や知識を習得しました。



▲参加者全員が真剣に訓練に取り組みました

## お知らせ

### 女川原子力PRセンターにて「スイートガーデン収穫祭」を開催します

10月23日、24日の2日間、女川原子力PRセンターにおいて、毎年恒例の「スイートガーデン収穫祭」を開催します。

今年は、りんご・だいこん・さつまいもの収穫体験、アップルパイ・大学芋・いも煮等の試食サービスやゲーム大会のほか、24日には、女川町のご当地ヒーロー「リアスの戦士イーガー」のヒーローショーを開催します。

皆さまお誘いあわせの上、ぜひスイートガーデン収穫祭にお越しください。

イベントの詳細については、東北電力ホームページのイベント情報(<http://www.tohokuepco.co.jp/event/>)をご覧ください。



▲昨年の収穫祭の様子。今年もりんごやだいこんなどの収穫を体験いただけます

## お知らせ

### 女川原子力PRセンター来館者110万人達成

9月18日、女川原子力PRセンターの来館者が110万人を達成し、110万人目のお客さまとなった石巻市の阿部由真ちゃんに花束と記念品(女川町特産品)をプレゼントしました。

昭和58年4月のオープン以来、原子力発電の仕組みや環境への取り組みについてわかりやすく紹介するとともに、季節に合わせて楽しめるさまざまなイベントを開催し、多くの方々にお越しいただいておりますが、今後も引き続き地域の皆さまから「親しまれるPRセンター」を目指してまいります。

来館110万人目となった石巻市の阿部由真ちゃん(左前)と妹の千秋ちゃん(右前)



## お知らせ

### 第9回東北電力図画コンクールの一次審査通過作品を女川原子力PRセンターに掲示しています

当発電所主催の第9回東北電力図画コンクール「想像の海の生きものたち」に、県内の小学生以下のみなさんから合計4,752点のご応募をいただきました。

審査の結果、150作品が一次選考を通過しました。一次選考通過作品は、10月24日まで、女川原子力PRセンターで展示し、ご来館いただいた方々による投票審査を実施しています。

ぜひこの機会に子どもたちの想像力あふれる作品をご覧ください。

個性あふれる「海の生きもの」をお楽しみください▶



### 【発電所の運転状況(9月末現在)】

号機	運転状況	主な動き
1号機	運転中	順調に運転しています
2号機	運転中	順調に運転しています
3号機	定期検査中	第6回定期検査を実施しています

9月19日、女川魚市場前で「おながわ秋刀魚収穫祭2010」(主催：女川魚市場買受人協同組合, 協賛：当社)が開催されました。

当社は、IHクッキングヒーターを活用したさんま料理の実演コーナーを設置し、来場された皆さまに、さんまの竜田揚げを試食していただきました。



▲IHクッキングヒーターで調理したさんまの竜田揚げは「美味しい」と好評でした

## クリアランス制度を適用して作られたリサイクルベンチを設置しました

平成10年に営業運転を終了し、現在、廃止措置中の日本原子力発電株式会社東海発電所から搬出された金属を再利用したベンチを、女川原子力PRセンターの2階に設置しました。このベンチは、平成17年度に導入された「クリアランス制度」に基づいて製造されたものです。

「クリアランス制度」とは、原子力発電所で使用された資材等の一部(金属やコンクリート等)を、年間0.01ミリシーベルトを超えないことを基準に、国の認可を受けて再利用することや一般の廃棄物として取り扱うことができる制度で、海外では既に多くの国で運用されています。

本制度によるリサイクルは、資源の有効活用につながり、循環型社会の一層の進展に役立つと期待されることから、当社は、このたび設置したリサイクルベンチの利用を通して、多くの方々に制度についてご理解いただきたいと考えています。

※再利用または廃棄物として埋め立てられても、人体への影響が無視できる放射線量として、自然界から受けている放射線量(年間2.4ミリシーベルト)の100分の1以下である、年間0.01ミリシーベルトを超えない基準としてクリアランスレベルが定められています。この年間0.01ミリシーベルトは人体への影響が無視できる放射線量として、国際的に認められている値です。



▲原子力発電所の解体で発生した炭素鋼をベンチの脚部に再利用しています

## \* 東北電力のプルサーマル計画について \*

現在、当社では、安全確保を最優先に、女川原子力発電所3号機における2015年度までのプルサーマルの実施に向けた取り組みを進めておりますので、最近の取り組み状況などについてお知らせいたします。



### ●フランスの燃料製造工場への契約前監査を実施しました

プルサーマルで使用する燃料\*は、フランスに保管しているプルトニウムを使用し、フランスのメロックス社で製造する予定です。このため、メロックス社の品質保証の仕組み、体制等の構築状況の確認を9月8～9日に実施しました。

※原子力発電所で使用したウラン燃料を再処理してプルトニウムを取り出し、ウランと混ぜて新しい燃料(MOX燃料)を作ります。このMOX燃料を再び原子力発電所で利用して発電するのがプルサーマルです。



### ●電力各社のプルサーマル進捗状況(平成22年9月末現在)

電力会社	導入プラント	設置変更許可申請	地元了解	MOX燃料製造状況等
北海道	泊3号	安全審査中	済(平成21年3月)	契約済 (平成22年3月)
東北	女川3号	取得済(平成22年1月)	済(平成22年3月)	—
東京	福島第一3号	取得済(平成11年7月)	済(平成22年8月)	搬入済 平成22年8月装荷 調整運転開始
中部	浜岡4号	取得済(平成19年7月)	済(平成20年2月)	搬入済 2回目製造中
北陸	志賀1号	安全審査中	申入れ中	—
関西	高浜3・4号	取得済(平成10年12月)	済(平成11年6月)	搬入済 2回目製造完了
中国	島根2号	取得済(平成20年10月)	済(平成21年3月)	契約済 (平成21年9月)
四国	伊方3号	取得済(平成18年3月)	済(平成18年10月)	搬入済 平成22年2月装荷 3月営業運転開始
九州	玄海3号	取得済(平成17年9月)	済(平成18年3月)	搬入済 平成21年10月装荷 12月営業運転開始 2回目搬入済
電源開発	大間	取得済(平成20年4月)	済(平成11年7月)	契約済 (平成21年4月)